

特集

安心して暮らし続けられる 地域社会を目指して

住み慣れた地域で
自分らしく暮らし続ける社会の実現には、
さまざまな団体が有機的に結び付いて
取り組んでいくことが求められています。
地域社会のために
生協の事業や活動が役割を發揮する、
注目すべき取り組みを報告します。



サービス付き高齢者向け住宅の利用者の買い物をサポートする
コープこうべの組合員ボランティア「買い物おたすけ隊」

〈主な連載〉

巻頭インタビュー

●わが生協、かくありたい！

コープみえ

理事長 西川幸城氏

●宅配連載

全国の宅配事業・
宅配センター運営を学ぶ

第17回

ドミノ・ピザ ジャパンに学ぶ
若年層の安全運転意識を高める教育施策

●特別企画

サントリーホールディングス(株)
グローバル企業となるために、創業の理念を掲げ
世代や障がい、国境を超えた人づくりを目指す

注目 記事！

●店舗連載

これからの店舗事業の
あり方を考える

第4回 コープえひめ

自前のデリカセンターを開設

経営感覚を磨き、惣菜部門の黒字化を目指す



2016年3月から製造を始めたコープえひめデリカセンター。小規模な施設ながら、製造工程から商品開発を手掛けることでMDの展開やバイヤーの成長に大きな効果が期待されている。



生協運営資料

No.293

2017.1

B5判

奇数月 10日発行

定価 870円・年間 5,220円

購読のお申し込みは、所属生協担当窓口まで

次号「特集」予告

●ITを活用して実現を目指す
組合員ファーストの事業(仮)

組合員のくらしが多様化する現在、人手不足などの制約を乗り越え、組合員との接点を持ち、組合員が望む形で商品をお届けすることは、宅配事業の大きな課題となっています。次号の特集では、ITの活用によって、この課題にチャレンジする事例を報告します。

日本生協連 広報部 出版G Tel 03-5778-8183